

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ふみ月チャレンジ染地

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11			定員10名で40㎡必要なところ、プレイルームは45.20㎡ある。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	2	1	放課後等デイサービスの基準配置は、利用者定員10名につき2名。職員は日々の平均で毎日約5名配置されているため、基準以上となっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	4	1	玄関の段差など療育的な観点からあえてフラットにしていない箇所もある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	3		まだまだ不十分な為、今後の課題である。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11			できるだけ保護者の方の意向をお聞きし、改善できるよう努めている。療育的な観点から、保護者の方の意向に添うことが難しい場合は、その都度保護者の方と直接面談やお電話等お話し、理解を得られるように努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	1		年度末の保護者会及び毎年4月に会のHPIにて公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11			今年度(2022年度)受審。。次回は2025年度受審予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11			外部(特に調布市福祉人材センター)の研修に積極的に参加し、また、年に数回内部での研修も行っている。次年度は、外部も講師を招いての研修の機会を増やしていく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11			年2回見直しを行い、個別支援計画を作成し、面談を行っている。その他必要に応じて見直しをしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	4	1	利用者それぞれ実状が違うため必ずしも、標準化されたものを使用しているわけではない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	4	2	時間との兼ね合いで、立案については職員が固定されている。今後は少しずつ様々な職員が携われるようにしていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	2		コロナ禍で感染予防の観点から、内容に制限はあったが、できるだけ固定しないように工夫してきた。次年度は外に出るプログラムを増やしていき、利用者が様々な毛に県ができるよう考えていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	3		特に土曜活動は、平日に行うことが難しい(時間と体制との兼ね合いで)プログラムを行っている。また、長期休暇の際も、利用者ができるだけたくさんの経験ができるような内容を考えている。 コロナウイルスの感染対策で、今年度までは活動の内容に制限があったが、今後は徐々に外に出る活動を増やし、更に充実した活動をめざす。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	11			集団に入ることが難しい場合は、個別的なとりくみをし、その後集団に戻って過ごすことができるように体制をくんでいる。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	7	1	時間や体制、業務の関係で、不十分である。今後は計画のノートを見るだけでなく、職員の業務の見直しをしながら、きちんと時間を確保していく必要がある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	9		その日でなくても近日中に振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	3		利用者の記録については、特に内容が不十分な為、書き方や内容については、都度確認しながら記録し検証していく必要がある。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1		年2回見直しを行い、個別支援計画を作成し、面談を行っている。その他必要に応じて見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	10	1		そのように努めている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	2		利用者によって、電話での簡単な聞き取りの場合もあるが、支援会議等が開催される場合は、施設長や児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1		保護者の方々にもご協力いただきながら、学校とでこいるだけ情報共有できるように努めている。
	22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	2	1	医療的ケアが必要な子が現在いない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	5		できるだけ連携をとれるよう考えているが、各事業所によって考え方の違いがある為、なかなか難しく不十分な場合がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	2		就労先への引継ぎシートを作成し、お送りしている。また、保護者の方より希望があった場合や就労先より連絡があった際は、これまでの支援の経過を伝えたり、面談を行ったりし、引き続き支援に携わっている(今年度はそのような例はなかったが、過去にはあった)。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	3		できるだけ外部に研修に参加し、職員一人ひとりの質の向上に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	4	中学生の職場体験で交流がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	9	1		施設長が参加し、理事になっている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	4		日々の連絡帳や電話、メール、送迎の際にできるだけ共有するようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9	1	1	必要に応じてその都度行っている。
保	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			重要事項説明書等で説明している。

護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11			保護者から相談がったり、こちら必要があると判断した際は、面談の時間をつくったり、電話等で支援を行っている。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2	1	年に2回保護者会を実施。その中の1回は保護者同志が交流できるよう、グループディスカッションの機会をつくっている。、日々の困りごとや学校のこと、将来のこと等様々なことを話したり共有したり情報交換できるような時間をつくっている。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2		内容によって、児童発達支援管理責任者・施設長が対応し、必要に応じて代表理事が対応することとなっている。幸いに今年度は苦情はなかった。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			会の通信を年に2～3回発行できるよう努めている。また、年に2回保護者会を開催し、その都度必要な事柄について発信するよう心がけている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	11			個人情報については、職員それぞれが十分に配慮しながら業務にあたっている。また、利用者の写真や作品を外部に出す場合は、個人情報使用同意書を元を選び、必要な際はその都度保護者に確認しながら行っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			利用者の方々の実状を理解しながら、また、保護者の方の性格・家庭の事情等を考え、できる限り配慮しながら行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	4	1	今年度は、調布福祉まつりに参加し約3年ぶりに地域の方や他事業所の方との交流の機会を持つことができた。また、土曜活動としてふみ月ウォークラリーを開催し、近隣の方々にもご協力いただきながら、地域の方と交流する機会を作った。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	2	1	マニュアルを策定し、書類を配布したり保護者会・職員カンファレンス等で共有してはいるが、まだまだ不十分で全員に周知されていない。どのようにしたらきちんと周知されるか、発信の仕方を模索していきたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	1		月に一度、利用者と一緒に防災訓練を行っている。職員のための訓練は行っていなかった為、次年度は行う予定。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11			調布市福祉人材センターの研修に毎年参加したり、法人研修を行っている、また、年に一度チェックリスを行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	1		今現在、個別支援計画に記載するような事例はないが、必要に応じてその都度保護者の方とやりとりをし、共有している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11			今年度は食物アレルギーの方はおりませんが、今後アレルギーをお持ちの方が利用することになった際は、保護者と連携をとったり、必要な際は医師にも相談しながら対応する。

	④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	1	都度ヒヤリハットを作成し、職員間で目を通し共有している。今後は、共有するだけでなく、事例として研修を行えるよう計画を立てていきたい。
--	---	----------------------------	----	---	--